



謹賀新年

生駒市議会議員 無会派 伊木まり子
ニュース 2024年1月

発行人 伊木まり子 〒630-0261 生駒市西旭ヶ丘1-2

Tel 0743-73-2828 // Fax 0743-71-6601

Email: ikomanomirai@iris.eonet.ne.jp

http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai



安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう



能登半島地震 震度7、阪神淡路 (1/17 震度7) から 29年、再度備えを！

帰省や観光で想定人口以上の被災者のでた能登半島地震。厳寒下の困難さと津波の怖さを再認識しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災されたみなさまが1日も早く日常をとりもどされることを願っています。防災計画再検・災害時の備えの再確認と被災地支援をしたいと思ひます。

生駒市議会では12・13日、生駒駅頭で募金活動を行いました。みなさまからたくさんの義援金をお預



防災知恵ぶくろは
← こちらから

簡易トイレ作りは
こちらからも →



妊婦・持病のある方など、感染症により
災害関連死につながる恐れがあります

感染症予防のためにトイレも準備を！

かりしました。被災地に届けます。ご協力ありがとうございました。引き続き、公共施設に義援金箱を設置中です。ご協力をお願いいたします。

12月定例会 報告

4月からの組織改編など、市長提出議案 全て可決

12月定例会は議案が追加提案されたため会期延長、12月27日に閉会しました。市長から提出された全ての議案は可決しました。



議案一覧はこちら
← からご覧いただけます

議決結果はこちら
からご覧いただけます →



追加提案された議案の1つはみなさんに影響の大きい物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した補正予算(議案第77,78号)です。議案の可決により、令和5年度の住民税均等割非課税世帯の方への**1世帯 7万円の支給**手続きをいち早く進めることになりましたが、支給は2月に入ってからになる見込みです。

その他、2件紹介します。

①議案第67号生駒市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について(議案書p39-p41)が可決し、4月から窓口が大幅に変わります。これはp2の総合計画第2期基本計画を推進するための体制整

備です。

デジタル化とスマートシティを推進する為、**市長直轄のデジタルイノベーション推進課**を設置。総務部と市民部を再編し**財務部を設置**、福祉健康部と教育こども部を再編・名称変更し、**子育て健康部、福祉部、教育部**へ、みどり公園課は建設部に、環境保全課は地域活力創生部に移管します。

今回の改編はこども家庭庁の創設に合わせた妊娠期からの子育て施策の推進、市内全体のデジタル化推進強化とスマートシティ構想等の推進のために必要であると考え、私は賛成しました。新年度来庁された際は1階 総合案内所でご確認ください。

②議案第79号の可決により、3月から、本籍地が市外の方も市の窓口で戸籍証明書・除籍証明書を請求できるようになります。パスポートも旅券事務所に行くことなく、オンライン申請が可能となります。

組織の改編についてはこちらから
ご覧いただけます →



今回の内容

- p1:地震への備え・支援 12月議会他
- p2:総合計画・アンケートにみなさんの声を
- p3:みんなで一緒に考えましょう / 9月議会
- p4:児童虐待 / 子育て援 / 議会の予定 / SDGs / 感染予防

20歳のつどい 1292人のみなさん、おめでとう！

コロナ下で分散開催が続いたつどい、今年だけはまるホール(定員928人)に出席者がそろい、門出をお祝いました。科学技術の目を見張る進歩や発展等の素晴らしさの一方で、紛争・戦争・災害・少子化・感染症など、困難山積みの時代ですが、自分らしく楽しく、生き抜いてください。もし困られたら連絡して下さいね(伊木)。



一言:楽しく生きるためには健康が第一。禁煙、アルコールはほどほどに。子宮頸がんはAYA世代女性がんの1位。糖尿病は心臓・腎臓病、がん、脳卒中・認知症の引金になります。検診健診をうけ、早期発見早期治療、健康づくりを忘れずに。

総合計画基本計画(案)にみなさんの意見を届けて下さい！

12月定例会では市民のみなさんの生活に係る重要な6つの計画の案について説明を受けました。①総合計画第2期基本計画・デジタル田園都市構想総合戦略*、②行政改革大綱*、③自殺対策計画、④障がい者福祉計画、⑤スポーツ推進計画、⑥高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画です。

④～⑥は私も委員を務める厚生文教委員会の所管分野の計画、委員会で質疑や提案を行いました。

①の**総合計画**は生駒市の総合的な市政運営の指針で、行政分野ごとの様々な計画の最上位に位置する計画。より良い生駒市を市民や事業者のみなさんと一緒に作っていくための計画です。現在の総合計画は平成30年度に策定。令和元年度から概ね20年間の計画で、20年先の目標:将来都市像を**自分らしく輝けるステージ・生駒**としています。

総合計画は市のビジョンを示す**基本構想**と、概ね4年間の行政運営のプランを定めた**基本計画**で構成されています。**今年度は**みなさんからの意見や市議会からの意見を勘案し、**第2期基本計画**(令和6年度から4年間の計画)を**策定**します。

市議会では昨年8月から特別委員会で審議し、すでに沢山の意見を届けました。私も子どもさんをはじめみなさんに読んでいただけるよう、わかりやすい文章にしてほしいと提案しました。また、第1期計画では健康づくりと医療は別の項でしたが、今回



総合計画はこちらからご覧ください



は医療は健康づくりに含まれるとして「施策7健康づくり」に記載しています。市は医療にも力を入れているので施策7を健康づくり(医療を含む)にしてはと提案しました。



現在、第2期基本計画案に関するパブリックコメントを実施中、市民のみなさんからのご意見・ご感想を募集しています。**提出期限は1月25日**です。意見は企画政策課窓口を持参、郵送、メールでご提出ください。計画内容の説明が必要な場合は職員が説明します。



TEL:74-1111(内線 4160)

第2期基本計画案



意見提出方法

基本計画策定にあたって、昨年7月にGoogle Classroomを使って、小学4年から中学3年の6483人のみなさんにもアンケートを行いました。児童生徒のみなさんの声は反映されているでしょうか？

計画案を開いてみましょう！

p3 上段へ

少子化が進行、介護・保育・教育…人材不足も進行中、どう対応？ みなさん一緒に考えましょう！

*デジタル田園都市構想総合戦略については基本計画案のp3,p37、行政改革大綱についてはp4,p43をご覧ください。

パブリックコメント制度 市民の生活にとって重要である政策等を策定する際に、その内容を案の段階で公表し、市民の皆様の意見を求め、意見を受けて修正した結果等を公表する一連の手続。

今年度意見募集を予定している計画

第3次生駒市教育大綱(案)・募集は今年3月～4月頃

ニーズを反映し取組を進めるために

市の計画にみなさんの声を反映させましょう！

市は重要な計画を策定する前に市民の皆さんの状況や意向を調査します。介護保険事業計画や障がい者福祉計画のように対象が限定されている場合は別ですが、多くの場合、住民基本台帳から層化無作為抽出した1000～3000人を対象にアンケートを実施します。

スポーツ基本計画の場合は、令和4年11月から12月に掛けて18歳以上の市民3000人を対象に「スポーツに関する市民意識調査」を実施しました(有効回答率 50,7%)。回答者の割合は、20代 5,9%、30代 8,6%、40代 17%、50代 18%、60代 16,5%、70歳以上 32,0%でした。

今回、総合計画第2期基本計画の策定にあたっては基礎資料とするために、18歳以上の市民3000人

を対象に令和5年1月に「市民実感度調査」を行いました(有効回答率 50,6%)。回答者の割合は 10代 0,7%、20代 5,1%、30代 8,6%、40代 15,9%、50代 16,6%、60代 17,4%、70歳以上 34,3%でした。やはり、20代、30代からの回答は少ないので、20・30代のみなさんの意見や声は計画に反映されにくくなるのではと懸念します。



市民実感度調査

市から届くアンケートに回答をお願いします！

毎年、計画策定や施策の決定のための基礎調査としてアンケートが行われます。今年度は2月に、令和7年度からの子ども・子育て支援事業計画を策定するためのアンケートが実施されます。市からアンケートが届いた時は、十分な子ども・子育て支援事業が実施されるよう、是非、回答をお願いします。

総合計画 第2期 基本計画(案) を開いてみると・・・

施策8 防災・減災・消防 (p64-65)

この施策はSDGsの17の目標の、11(住み続けられるまちづくりを)、16(平和と公正をすべての人に) 17(パートナーシップで目標を達成しよう)の達成をめざす取組です。

2027年度末にめざす状態 ‘市民(自助)・地域(共助)・行政(公助)が協働し、いのちと暮らしを守る取組が進んでいる’

そのための市の取り組みは

(1) 災害対策・危機管理体制の強化 (2) 火災予防・救急対応力の向上 です。市民や事業者ができる事として

日頃から個人でできる備えを行う、防災訓練に参加する、応急手当を身につける、救急車が到着するまで救護活動を実施するなど 紹介されています。

施策4 学校・教育 (p56-57)

この施策はSDGs 17の目標の2、4、8、16、17の達成をめざす取組です。

2、4、8は？ (p4をご覧ください)

2027年度末にめざす状態 ‘主体的に楽しく学ぶ子どもたちが増えている’

そのための市の取り組みは

(1) 主体的に学ぶ人の育成 (2) 主体的に学べる教育環境づくり です。

市民や事業者ができる事として

子どもたちと積極的に関わりを持つ、学校施設や通学路、通学途上における児童生徒の行動に対する改善点を提案するなど 紹介されています。

「こうした方が良いのでは?」「こんな取組があったらいい」など、意見や感想を届けてください。みなさんの気づきが 生駒を‘誰一人取り残さない・だれもが自分らしく輝くまち’に近づけることになると思います。

**総合計画第2期基本計画(案)に みなさんの意見を！
提出期限は1月25日です！**

9月定例会
財源充当問題

市長は議案を撤回し再提案、最終的には可決

いこま市議会のうごき No.156 の最終ページには賛否の分かれた2議案:決算の認定と一般会計補正予算(第5回)の議決結果が掲載されています。

決算の認定については、問題ありとして、5議員が反対。私は、指摘された問題点が改善されるかどうかを注視していく必要はありますが、担当課は指摘を受け止めきちんと対応されると考え賛成しました。

補正予算については、予算委員会で、給食材料費高騰に対する補助(3800万円)と南小・中学校の耐力度調査(約1900万円)の財源として、こども未来基金を充てるのではなく、黒字となった令和4年度の繰越金を充てるべきとして塩見議員から修正案が提出されました。私は原案(議案42号)に賛成したのですが、修正案が委員会で可決。そのまま、9月26日の本会議で修正案が可決すると思いましたが、市長は本会議で原案の撤回を申出。撤回が承認された後、委員会の意見を一部取り入れ、給食材料費高騰に

対する補助については繰越金を充てるとする新たな補正予算案(議案63号)が市長から提案されました。これに対し、南小・中学校の耐力度調査の財源もこども未来基金ではなく繰越金を充てるべきと、塩見議員から修正案が提出されるも委員会で否決。

最終的には10月2日の本会議で、26日に市長が提案した議案63号が賛成多数で可決しました。

こども未来基金については、1昨年の9月定例会でこども未来基金条例が提案されたときから塩見議員と市長との間で考え方の違いが際立っていました。

昨年の3月定例会では、こども未来基金の活用根拠に問して、地方財政法の解釈において見解が分れました。私は地方財政法逐条解説を確認したり、そもそも‘基金’という仕組みはいつ・なぜつくられたのか等調べ考え、市の見解に賛同。私は今回も原案に賛成しました。紆余曲折の末、こども未来基金の活用基準が一定整理されることになりました。

児童虐待は対策次第で減らせる！さらなる対応を！

本市では平成28年4月、虐待通告(泣き声で通告)を受け対応中の家庭で2歳男児が死亡する事件が起きました。1年以上前から市が姉・母親を支援していましたが、父親が日常のしつけとして閉込めたケース内で亡くなりました。県も市も検証のための会議体を立上げ、専門職員の配置や組織体制の強化などを提言。私は平成29年12月定例会で再発防止に向けた対応方策が十分実施できているか質問しました。当時はまだ十分とは言えない状況でした。

一方、令和4年度に児童虐待として市が対応した件数は781件。男児の死亡前年(平成28年度)の575件に比べ、206件も増加。家庭相談員は1人あたり平均110件もの案件に対応していました。

今回、①死亡事件後、十分対策が講じられたか確認し、②児童虐待防止のため施策について質問しました。



①については、様々な改善策が講じられていましたが、まだできることがあると思いました。個々のケースに対して職員をサポートする助言指導者は配置されていますが、県の検証において指摘された「組織全体を統括し専門的な視点で職員をサポートするスーパーバイザー」は未だに不在です。人員体制の充実、市の虐待案件を調査・分析し組織全体を統括できる専門家を配置する等の体制整備を要請しました。さらに、2度と事件が起きないように毎年4月に「子どもの命を守る日」を設け、検証結果報告書を手取る日としてはどうかと提案しました。

②については、「嫌なこと・痛いことをされたら声を挙げ助けを求める」ことを幼いころから教える取組みの強化、虐待案件を調査分析し虐待防止につなげることで、特定妊婦への対応を含め職員が効率よく動ける子ども家庭センターの設置を要請しました。

10月24・25日
松戸市・墨田区

送迎保育ステーション や 家事・育児支援事業を調査

私が委員長を務める厚生文教委員会は今年度‘子育て支援について’調査するため、教育こども部長にも参加頂き、千葉県松戸市と東京都墨田区を訪問しました。

松戸市では送迎保育ステーション事業や保育士確保の取組み、墨田区では児童虐待防止に繋がる特定妊婦への支援や家事支援など、先進的な取組みを学んできました。

松戸市の送迎保育ステーション事業は、3歳まで小規模保育所を利用した後、遠方の幼稚園を利用することになった保護者にとつ

て送迎の負担が軽減し働きやすさに繋がっていました。生駒市でも遠方の保育所利用者支援として実施できればと思います。



← 視察報告書をまとめました。今後、視察先で学んだことを生駒市でどの様に活かすか、委員会で話し合う予定です。



10/25 墨田区役所 勝海舟像前で



SDGs 17の目標は？

詳細はこちら →
2012年国連総会



(p3関連)



2 飢餓をゼロに
4 質の高い教育をみんなに
8 働きがいも経済成長も

【市議会の予定】

1/27 市民懇談会

自治会運営に関して、自治連合会のみなさんと話合います。

2/18 ischool「親子市議会ツアー」(担当：広報広聴委員会)

2/22 3月定例会に提案される議案の説明会 (13時～)

2/29 議会運営協議会と全員協議会を開催 (10時～)

3月定例会の日程や運営等を協議。

3/5 3月定例会開会 (いずれも10時～)

3/5-3/8 一般質問・本会議

3/12,13,14,18 委員会

3/22 最終本会議

2/18 伊木も
担当します。
関連 ↓



議員役員構成表

コロナ、インフルエンザ まだまだ要注意！

マスクの適切な着用・手洗い・距離・換気等の感染防止策を！適宜アルコール消毒を。防止策は新たな感染症にも役立ちます。

消毒薬、過信は禁物です

鼻汁やたんがついた時は消毒液の効果は激減します。また感染性胃腸炎の原因 ノロウイルス や 咽頭結膜熱の原因 アデノウイルス は脂質膜がないので通常アルコールが効きません。石鹸による手洗いが重要。タオルの共用はやめ、十分に良好な睡眠と食事を！



ブログも
ご覧ください。

編集後記：12月定例会は27日に閉会。p2の6つの計画のパブリックコメントを意見募集期限内に案内したかったのですができず。正月準備もそこそこに、4年ぶりに台湾に住む長女の義父母に会いに出国。幸い元気で安堵しました。しかし、1日は能登半島地震、2日の入国と同じころに起きた航空機事故。大きな災害と紙一重であることを実感した年初めでした。今年も精一杯取り組みます。伊木まり子

このニュースの発行・お届けに係る費用は公務活動費から支出しています。